

今、ここにいる児童・生徒たちとともに考える人権教育を
～反差別の教育にどう取り組んでいくのかを考える～

府立人研通信

大阪府立学校人権教育研究会
第1号
2026年6月5日発行



春季研修会及び総会のご報告



こんにちは、府立人研事務局です。万緑の季節、みなさんいかがお過ごしでしょうか？

「府立人研通信」第1号では、春季研修会及び総会のご報告をさせていただきます。多くの教職員の方々にお越しいただき、本当にありがとうございます。またのお越しをお待ちしております。



春季研修会及び総会 子どもをつなぐことの意味

5月8日（金）14時より、2026年度春季研修会及び総会を府立大阪ビジネスフロンティア高等学校にて開催しました。

総会では、昨年度の事業報告、会計報告を行い、2026年度における新役員や事業計画および予算案が審議され、議案はすべて承認されました。

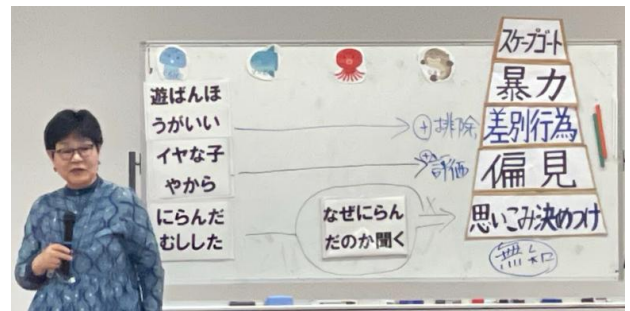
春季研修会では「子どもをつなぐことの意味」をテーマに、土田光子さん（八尾市人権協会ミドルリーダー学習会代表）による講演と八尾市立桂中学校の教員から前任校での実践報告をしていただきました。

土田さんは長年、八尾市立の中学校で「学校に行きたくても行けない子どもの実態を知ることから学校内の環境を整える」ことを意識して勤務されてきた経験から、無知を脱却できる・ともに考える集団づくりについて、具体例を交えながらお話くださいました。その中で、教室の中だけで決めつけず、起きていることをスルーせず、当事者と対話をし、「なぜ？ どうした？ だったら、どうしたい？」と問うことが大切であることを学びました。

桂中学校の教員からは、3年担任クラスに外国にルーツのある生徒や家庭環境に困難を抱える生徒が多く在籍している中で、自分の意見を記入する班ノートを活用して、生徒一人ひとりの意見を引き出し、対話を通して自ら考え、また生徒どうして悩みながらも、自立し

ていく集団づくりの取り組みの実践について、ご報告いただきました。また、生徒たちが1年後にどのように成長したのかについても、お話いただきました。

お二人の話は集団づくりをしていく上で、生徒との関わり方、声のかけ方を改めて考えさせられる内容でした。



直近の活動予定

■第1回研究部会

6月12日（金）14:00～（受付：13:30～）

ケーススタディ部会 @府立柴島高等学校

進路保障部会 @大阪私学会館

6月19日（金）14:00～（受付：13:30～）

教材部会 @府立柴島高等学校

■HRF2026 第1回生徒実行委員会

6月13日（土）14:30～（受付：14:00～）

@府立今宮工科高等学校 定時制専用棟

府立人研 大阪府立学校人権教育研究会

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島1-7-106 府立柴島高等学校内
（通郵便は「府立人研」とお書きください。）

TEL・FAX 06-6324-3822（直通）（お電話の場合は、火曜日をお願いします。）

E-Mail furitsujinken@nifty.com（お問い合わせは、なるべくメールをご利用ください。）

U R L <https://furitsujinken.in.coocan.jp/>



【府立人研 HP】

*「府立人研だより・通信」の掲示・配布をお願いいたします。各校の人権教育の充実にお役立ていただけましたら幸いです。

当日参加された方々の感想

- ・ 集団作りの何たるかを学ばせていただきました。自校でも取り組んでみたいと思いました。
- ・ 現在勤務している学校で、どのようにしたらいいか悩んでいることについて答えがみつかりました。
- ・ 表面的な学び、集団づくりでなく、本質とは何か？を学ぶことができたと思う。
- ・ 集団づくりとは何かという事をあらためて考えさせられ、良い感じにモヤモヤしてます。ゆっくり振り返ってみたいと思います。
- ・ 生徒に、なんで？と問いかけることの意味を改めて思い出しました。
- ・ 子どもたちに育てられる、その中で教員の集団づくりにもつながるというところ、本校でも役立てていきたいです。
- ・ 原点に改めて気付かされた気がします。若い人に聞かせたい。
- ・ 子どもどうしがつながる大切さを実感しました。とともに、教員が生徒とつながる大切さ。役割ではなく、そもそも人として人とつながる大切さを感じました。ありがとうございました。
- ・ 教師魂に火をつける講演でした。
- ・ 子どもと本気で向き合うことの大切さを再度確認できた。
- ・ 具体的な取り組みを紹介していただき、リアルなイメージができた。
- ・ 土田先生が本会でお話されたところに共感できる部分が多かったので、人権学習で使わせていただきます。
- ・ 理論だけでなく、実践をたくさん聞くことができ、本音のお話を伺うことができました。